MedPeer

医師 2,000 人超の調査結果を多数掲載中です
https://www.facebook.com/medpeer

Press Release

2013年10月25日
メドピア株式会社

「OD錠の服薬コンプライアンス」について
半数以上はOD錠のメリットを感じていない

医師約6万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、https://medpeer.jp/）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>は、会員医師を対象に「OD錠の服薬コンプライアンス」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

医師専門サイトMedPeer調査結果：「OD錠の服薬コンプライアンス」について（総回答：3,216人）

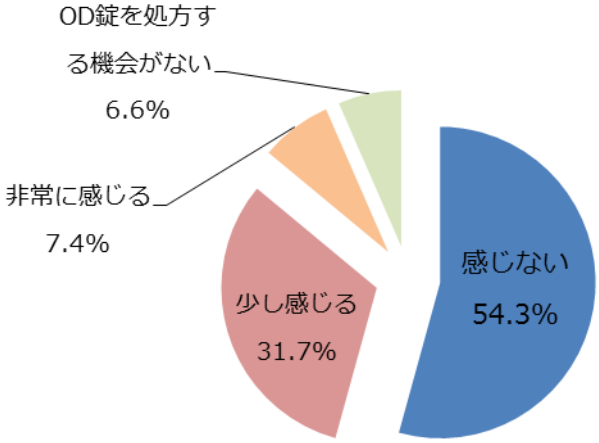
順位	回答	回答数（人）	占有率
1	感じない	1,746	54.3%
2	少し感じる	1,020	31.7%
3	非常に感じる	239	7.4%
4	OD 錠を処方する機会がない	211	6.6%
-	合計	3,216	100.0%

サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer（メドピア）に登録する医師（6万人以上）を対象に**「OD錠と、その他の錠剤で服薬コンプライアンスの差を感じますか？」**という質問をしたところ、**3,216**件の回答が寄せられた。
- 「感じない」という回答が全体の54.3%あり、半数を超えた。複数の薬剤を処方するので、１種類だけＯＤ錠でも意味がないというコメントが多く、結局は水で飲んでいるということもあるようだ。
- 「少し感じる」は31.7%、「非常に感じる」は7.4%だった。高齢者、嚥下障害のある患者さん、経管投与にはメリットがあるという回答が目立つ。また、「吐き気止めや睡眠薬、抗不安薬、鎮痛剤など屯用する薬剤などは特に水なしで飲める方が便利」というコメントもみられた。
- OD錠は「おいしい」と子供や高齢者に好まれるという意見もある一方で、薬剤によっては「苦い」と敬

遠されることもあるようだ。また、コンプライアンスは剤型ではなく、「服用する患者の性格、パーソナリティの方が大きく影響している」という意見もあった。「何をやっても飲む人は飲む、飲まない人は飲まない」ということのようだ。

▼総合結果



n=3,216 MedPeer調べ

回答コメント（回答一部を抜粋）

「感じない」　1,746件

・対象疾患の都合上、複数の薬剤を処方するため、1 剤が OD 錠であっても、ほとんど意味がない。（40 代、腎臓内科・透析）
・外来患者さんでは感じないですね。経管投与には便利です。(50 代、脳神経外科)
・OD 錠の方が飲みやすいと思いますが、コンプライアンスには影響ありません。（40 代、泌尿器科）
・小児を相手にしていると、OD 錠は処方量の調節ができないので、水に溶かしてそのうちのいくらかは飲んでもらうという煩雑さがあり、感じません。（30 代、小児科）
・OD 錠は妙なフレイバーがつけてあり、好きではありません。（40 代、一般内科）
・30～60 歳代が多いせいか、良かったという声は余り聴きません。（50 代、一般内科）
・とくにコンプライアンスにあまり差は感じない。嚥下に問題があるかどうかや患者さんの好みくらいの影響と思います。内服直前に封を切らないといけないタイプは一包化できないので煩雑ではあります。（30 代、一般内科）
・自分自身 OD 錠を内服していますが、後味が悪く感じることもあります。（40 代、整形外科・スポーツ医学）
・服用する患者の性格、パーソナリティの方が大きく影響していると思う。（60 代、脳神経外科）
・単剤の場合水がいらないメリットがあると宣伝されているが水のない場所で飲む機会がどのくらいあるだろうか。ほとんどの患者さんは併用薬剤があり OD 錠と普通錠とを一緒に飲むのは難しいようだ。べつべつに処方するわけにもいかず迷惑だ。（60 代、循環器内科）
・カプセルでは、アレルギーが出ないが、OD 錠では、アレルギーが出るという人がいます。（50 代、アレルギー科）
・小児でも OD 錠が嫌いな児が多くおります。（50 代、小児科）

「少し感じる」　　1,020件

・吐き気止めや睡眠薬、抗不安薬、鎮痛剤など屯用する薬剤などは特に水なしで飲める方が便利です。定期的に内服するものはあまりかわりません。（50 代、皮膚科）

・投与した患者に尋ねると、差異は無いという人が大多数です。（40 代、皮膚科）

・高齢者では OD ではない錠剤と 1 包化してまとめて内服することが多いので、価値は少ない。睡眠導入剤では就寝後の頓用に便利だと思う。（50 代、一般外科）

・来院患者が社員だけなので，高齢者が少ないためか，特に大きな違いは感じません。（40 代、産業医）

・多剤内服されてる方では感じませんが、錠数が少ない方では感じます。（30 代、代謝・内分泌科）

・経管栄養などでは粉砕よりも OD の方が処方しやすいです。内服の場合は、そこまで差はないと思いますが、どちらも処方できるのであれば、OD を選択すると思います。（30 代、神経内科）

・夜間多尿・透析症例では OD 錠は使いやすいと思うが、患者の中には割と唾液での錠剤の崩壊が苦手という人がいるので、当初期待していたほどの差はないと感じている。（50 代、泌尿器科）

・大人ではあまり違いは感じないが、小児の場合 OD 錠が出て子どもたちからは評判が良い。（40 代、一般内科）

・口腔内崩壊錠も比較的固く他剤と一包化できるものから、瞬時に口腔内で溶解する非常に柔らかい錠剤と様々です。そのため、有用性を感じないものから感じるものまで様々です。(50 代、精神科)

・剤型が大きくなってしまうので、かえって嫌がる人もいる。（50 代、消化器内科）

・患者のコンプライアンスの向上というより，周術期や腸閉塞などの絶食時には OD 錠が重宝します。（40 代、消化器外科）

「非常に感じる」　　239件

・療養型病院では嚥下障害のある患者に投与しやすい。（60 代、消化器内科）

・PPI や H2blocker の OD 錠の先発品は、薬の味も良く、錠剤やカプセル剤に比べて、内服コンプライアンスが優れていることを何度も経験しました。（50 代、総合診療）

・高齢者、認知症の人たちばかり診療していると口腔内崩壊錠はすごく良いです。口から、ペッと吐き出すことができないので拒薬の人に最適です。飲み物にもよく溶けますし、嚥下障害でも使いやすい。同じ理由で液剤、ゼリー剤、フィルム剤も使い分けできて良いです。粉末だと吹いちゃうからゼリーに混ぜたり工夫していますが、最初から口腔内崩壊錠あるととっても便利です。（50 代、神経内科）

・片頭痛のお薬などは吐き気で水ものめない状態の患者さんもあり、この場合には OD 錠は有用で、よく使用していますね。（40 代、脳神経外科）

・先生あの溶けるくすりがとてもよかったと喜んでくれます。他の薬もないのですかと希望されることもあります。外来通院の嚥下障害のある患者さんには評判です。（50 代、脳神経外科）

「OD錠を処方する機会がない」　　211件

・眼科なので、処方機会がほとんどありません。（40 代、眼科）

・処方する機会がないのですが、自分で服用するときにはよいと感じます。（60 代、放射線科）

・コストが割高なので患者さんに嫌がられます。うちは院内処方なので満足度の高い薬を中心に置くように必然となっていますが…ＯＤ錠は不人気です。(50 代、一般内科)

MedPeer

※**調査方法**

□**期間：**

2013年9月18日（水） ～ 2013年9月24日（火）

□**有効回答：**

3,216人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□**設問：**

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

口腔内崩壊錠（OD錠：Oral Disintegrant）は、口腔内の唾液で溶解するため、水なしで飲むことができる医薬品です。

そのため「外出先でも飲みやすい」「高齢者や嚥下困難な患者さんでも飲みやすい」といったメリットがあり、服薬コンプライアンスの向上が期待できます。一方で、「すぐ溶けたり湿気に弱いため扱いにくい」「薬の味が苦手」などデメリットを感じる患者さんもいるようです。

皆さまは、OD錠と、その他の錠剤で、服薬コンプライアンスの差を感じますか？

以下の選択肢から当てはまるものをお選びいただき、コメント欄にその理由と、どのようなケースでそう感じたか、どの疾患や薬剤で有用性を感じたかなどをコメントにご記入ください。

1. 非常に感じる
2. 少し感じる
3. 感じない
4. OD錠を処方する機会がない

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社　管理部　TEL：03-6805-0345　/ e-Mail：info@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。

・web 上での引用に際しましては、https://medpeer.jp へのリンクをお願い致します。

■MedPeer（メドピア）とは　- 2013年9月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL: https://medpeer.jp/）。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、”臨床の決め手がみつかるサイト”として、多くの医師に利用されています。

現在の会員は 6 万人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 1,900 の医療用医薬品に対して、26 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上